

総務課長 山住 哲司 様

医療介護部長 山岡 薫彦

会 議 要 録

名 称	令和元年度第 1 回西予市立病院改革推進委員会	
事 務 局	医療介護部医療対策室	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和 2 年 2 月 7 日(金) 18:00 ~ 19:40	
開 催 場 所	西予市役所 5 階第 2・第 3 会議室	
出席者	委 員	西予市医師会長 井関満永 厚生常任委員長 源 正樹 西予市民病：院長 末光浩也・副院長 菊地良夫・副院長 仲村 聡夫・事務長 松末 博 野村病院長：院長 守田人司・事務長 三瀬 功 医療介護部長 山岡薫彦 委員 9 名
	顧 問	八幡浜保健所長 竹内 豊（代理 松本順子主幹）
	欠 席 者	西予市民病院：看護部長 兵藤厚美（代理：副看護部長 船上英子） 野村病院：愛媛大学地域医療学講座教授 川本龍一・副院長 大 塚伸之・看護部長 山本静子（代理：副看護部長 土居和美）
	事 務 局	西予市民病院：事務長補佐 竹内寿夫・係長 沖野貴洋 野村病院：事務長補佐 富永一彦 医療対策室：室長 亀岡敦志・指導員 河野千恵香
議事内容(要旨)	開会あいさつ 山岡医療介護部長 委嘱状交付 自己紹介 委員長・副委員長選出 (委員長)西予市医師会長 井関満永	

(副委員長) 医療介護部長 山岡薫彦

委員長挨拶

医師・看護師不足、高齢化、人口減少が進む本市において、両市立病院を現状のまま維持していくことは難しい。広い地域をもつ西予市のなかで東部地域に野村病院は必要な医療機関。どのように見直していくか皆様にも意見をいただきながら進めていきたいのでよろしくお願ひしたい。

協議事項

1 市立病院の現状と新改革プランの進捗状況報告

(1) 経過、進捗状況説明(医療介護部長)

新改革プランを今年度末に見直すよう協議を行ってきた。8月16日に開催した両病院合同幹部会で2022年に二次救急集約、11月5日に集約時の両病院の病床数を市民154床・野村70床にする(スタート時、稼働病床市民116床・野村56床を想定)ことについて合意確認した。また、減床した野村病院の病床を介護医療院に転換できないか検討中。国(総務省)の動きとして、今年の夏頃に現行プランの見直しの要請(ガイドライン発表)があると聞いている。国からの見直しに関する内容が明確になりしだい、必要があれば修正したプランを再度一部見直すこととする。地方財政措置のことも考慮して早く改訂を進めたい。出来るだけ情報収集を行い今回の改定に盛り込んでおきたい。改革プランの評価については大きな成果はないが進捗していることもある。

医師の高齢化も含め現状の医師・看護師不足が懸念される。募集しても集まりにくい状況。医療従事者の処遇改善等に取り組んでいる。会計任用制度に対応しているが、全ての要望(現行の特殊勤務手当の継続支給など)に対応できない部分もあり離職者も出てきている。出来る限りの対策は講じる。

(2) 病院の現状説明

・西予市民病院(松末事務長)

病床数は154床。療養病棟に包括ケア病床を9床を設置した。整形外科医が2名常勤になったことから、患者数、手術件数が増加した。人工透析を受けている患者で希望者には送迎も実施している。ERCPなど内視鏡検査も増加傾向である。

看護師、看護助手の慢性的な不足が続いており、離職希望者も出始めている。危機的状況で療養病棟の在り方も検討に入った。

・野村病院（三瀬事務長）

病床数は 88 床。うち 29 床が包括ケア病棟。常勤医師 7 名、非常勤医師 3 名。非常設科（眼科・皮膚科・心療内科）。臨床研修医 9 名、医学実習生 110 名を受入。移動診療車の運営も行っている。医師不足の影響で内科医の当直回数が増えている。給食調理員が不足しているが確保できていない。

（質疑応答）

無し

2 新改革プランの平成 30 年度点検・評価について（亀岡室長）

評価書の構成、概要説明。委員の皆様には点検評価をお願いしたい。総評を 2 月 21 日金曜日までをお願いしたい。

3 新改革プランの改訂について

・プランを改訂する場合（八幡浜保健所 松本主幹）

2 年前の調整会議にプランが提出され諮ったうえで承認されたと思う。同様に内容を調整会議に事前に提出し改訂を進める。調整会議で異議がでると逆戻りする場合もある。八幡浜管内は年 1 回 2 月前後に開催する。来年の 2 月にかけてと遅い。書面会議の開催も可能。早めにプランを策定して調整会議に諮ってほしい。一番問題なのは病床の転換。西予市トータルから病床数が下回っていれば問題はない。両病院で役割分担をした結果として凶れば問題ないと思われる。報道が入るので非公開が希望であれば相談をいただきたい。

（1）改定の必要性と主なポイント（亀岡室長）

医師、看護師不足、人口減少、市の財政力の低下、働き方改革等の課題があるなかで今年度末の目標は達成できないため二次救急集約の先送りなど現プランを見直す必要がある。

主な改定ポイントは 二次救急の集約時期、 病床再編

（2）住民説明会の開催

2 月 17 日から 2 月 27 日までの間で市内 6 か所で住民説明会を開催する。

主な説明内容

	<p>病院改革プランとは 策定までの経緯 両市立病院の機能・現状と課題・救急の概要と受入れ状況・医師看護師不足 2022年に向けた改訂のポイント 西予市民病院に西予市夜間・休日二次救急センター（仮称）を設置し二次救急を集約する・両病院の病床再編 救急医療・救急車の適正利用 看護師募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会の開催日時・会場（チラシ参照） <p>4 その他</p> <p>（委員）西予市内で二次救急まで完結できているが、八幡浜・大洲圏域でいえば伊方町等は、八幡浜市や大洲市など町外に行くようになっている。西予市の救急体制は非常に恵まれていること、西予市夜間・休日二次救急センター（仮称）はハードルが高く容易にできるものではないことを住民説明の際には説明してほしい。</p> <p>（事務局）委員全員に評価をお願いします。評価書提出〆切（2月21日）</p> <p>閉会あいさつ 山岡副委員長</p> <p>現在の市民病院の厳しい状況（会計年度職員への切替に伴う看護補助者の離職による複数欠員による看護職員の負担増）は理解している。病院事務長看護部長と協議しながらいろいろな対策を進めている。定年を迎える看護師への再任用者へのお願いもして、一定の人員の確保はできた。介護福祉士を看護補助者として正規職員で迎え入れる体制も進めている。また、看護助手の募集についても進めている。</p> <p>両病院で今後も協議を重ね、行政としてもしっかりと直近の課題や将来に向けての病院改革を進めていきたいので協力をお願いします。</p>
備	考